

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード	5-2-1		事業名	子ども体力向上事業	
担当	観光文化局 スポーツ部 企画事業課 調査担当 照井 志暢 Tel:211-3044				
全 体 計 画					
事 業 内 容	<p>子どもの体力・運動能力の低下が指摘されていることから、以下の事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○運動プログラムの開発 公園などにおける野外運動教室のプログラム開発及び室内等における運動教室のプログラム開発を教育機関、関係団体と連携して行う。 ○運動教室の実施 小学校の体育館、グラウンド、公園、公共施設などを利用し、子どもが身近に参加できる場所において遊びとスポーツの要素を含んだ様々な種類の運動教室を実施する。 ○指導者の養成 運動教室事業の拡大を図るために、運動生理学の視点をもち、体を動かす楽しさを子どもと接しながら伝えることができる指導者の養成を行う。 ○保護者向けの啓発 保護者に対して、子どもの体力向上の重要性を啓発するためには保護者説明会や小冊子の発行、講演会などを実施する。 ○学校教育との連携 学校教育との連携により子どもの体力向上を図るために、学校教員との共同勉強会や意見交換会などを行う。 				<年度別の事業内容>
					平成19年度(補助金) ・運動教室実施・レクリエーション用具購入・指導者養成プログラム修正・指導者養成・啓発用品購入
					平成20年度(補助金) ・運動教室実施・レクリエーション用具購入・指導者養成・啓発用品、消耗品等購入
					平成21年度(補助金) ・運動教室実施・レクリエーション用具購入・指導者養成・啓発用品、消耗品等購入
					平成22年度(補助金) ・運動教室実施・レクリエーション用具購入・指導者養成・啓発用品、消耗品等購入
事 業 内 容 ・ 量	平成19年度事業内容(決算)				平成20年度事業内容(決算)
	<p>財団法人さっぽろ健康スポーツ財団が実施した以下の事業に対し補助金を支出した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○運動プログラムの開発 遊びを中心とした室内における運動プログラムの開発を行った。 ○教室の実施 札幌市内2区体育館(厚別区・東区)において運動教室「げんきキッズ教室」を実施した。 ○指導者の養成 指導者養成カリキュラムを作成し、それに基づいて指導者の養成を行った。 ○保護者向けの啓発 「げんきキッズ教室」受講の保護者に対して保護者説明会を実施した。 ○学校教育との連携 市内小学校において体育の授業視察を行い、その後意見交換会を行った。 				<p>財団法人さっぽろ健康スポーツ財団が実施する以下の事業に対して補助金を支出した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○運動プログラムの開発 遊びを中心とした室内及び屋外における運動プログラムの開発を行った。 ○教室の実施 札幌市内6区体育館(厚別区・東区・中央区・北区・西区・清田区)において運動教室「げんきキッズ教室」を実施した。また、長期休業中に学校体育館において短期の運動教室を実施した。 ○指導者の養成 指導者養成カリキュラムに基づき、指導者の養成を行った。 ○保護者向けの啓発 体力向上の重要性を啓発する資料を作成し、保護者説明会を行った。 ○学校教育との連携 学校教員と運動教室指導員の授業参観及び意見交流を行った。
事 業 内 容 ・ 場 所 ・ 規 模 ・ 件 数 等	平成21年度事業内容(決算)				平成22年度事業内容(決算)
	<p>財団法人さっぽろ健康スポーツ財団が実施する以下の事業に対し補助金を支出した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○運動プログラムの開発 これまで開発した運動プログラムを運動能力ごとに分類してまとめ、全教室で展開するために共通化を図った。 ○教室の実施 札幌市内の8区体育館(厚別区・東区・中央区・北区・西区・清田区・白石区・手稲区)において運動教室「げんきキッズ教室」を実施した。また、長期休業中に学校体育館において短期の運動教室を実施した。 ○指導者の養成 大学との連携により、学生を指導者として養成し、教室の指導に当たるような仕組みを構築した。 ○保護者向けの啓発 体力向上の重要性を啓発する資料を作成し、保護者説明会をおこなった。 ○学校教育との連携 市内小学校において体育の授業視察及び意見交流を行った。 				<p>財団法人さっぽろ健康スポーツ財団が実施する以下の事業に対し補助金を支出した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○運動プログラムの開発 これまでに開発した運動プログラムをまとめたプログラム集を作成し、保育園、幼稚園、小学校に1冊ずつ配布した。げんきキッズ教室の受講者だけではなく、広く運動プログラムを体験できるようにした。 ○教室の実施 札幌市内の10区すべての体育館において運動教室「げんきキッズ教室」を実施した。また、子どもの身边にある学校体育館や屋外施設などにおいても短期の運動教室を実施した。 ○指導者の養成 大学との連携により、学生を指導者として養成し、教室の指導にあたる仕組みを構築した。 ○保護者向けの啓発 体力向上の重要性を啓発する資料を作成し、説明会を実施した。また、運動教室の無料体験会を実施し、その際にも説明会を実施した。 ○学校教育との連携 市内小学校において体育の授業視察及び意見交流を行った。

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	5-2-1		事業名	子ども体力向上事業			
達成目標の状況							
項目	18年度末 (実績)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (実績)	22年度末 (実績)	22年度末 (目標)	
運動教室数	モデル 2教室	10教室	28教室	38教室	56教室	全市で 100教室	
指導者の養成数(累計)	5人養成中	9人	12人	26人	31人	50人	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>■市民との連携、市民参加 運動教室受講の保護者に事後アンケートを実施し、げんきキッズ教室の実施効果を検討し、今後の改善に役立てている。</p> <p>■企業等との連携・協働 [資金協力] (該当なし) [人材協力] 運動教室の指導及び指導者養成について関係各団体から協力を得ている。 [情報協力] 大学等の教育機関から子どもの体力向上のための情報提供を得ている。 [その他の協力] 大学等の教育機関に運動プログラムの監修及び有効性の検証について協力を得ている。</p> <p>■市民・企業等が参加しやすい環境づくり 関係企業・団体との連携による事業の実施に努める。</p>							
評価(成果)	課題						
子どもの体力向上のための事業として、「げんきキッズ教室」を実施し、平成22年度は10区56教室での実施となった。 本事業を通じて、指導者を養成することができ、また、教室で実施した運動能力測定データをもとに、運動能力に有効なプログラム集を作成し、保育園198園、幼稚園148園、小学校204校に配布することができた。保育園、幼稚園からは、プログラム集に基づく指導について、問い合わせが多数あった。	平成23年度より、さっぽろ健康スポーツ財団の自主事業となる。運営面にかかわって、運動プログラムが適切に提供されるよう、指導、助言を行っていくことが必要となる。 また、保育園、幼稚園、小学校へ配布した運動プログラム集を広く活用してもらうために、関係部局、機関と連携しながら研修会等を企画・運営する必要がある。						
今後の事業の予定・方向							
<p>○平成18年度より行ってきた本事業は、市内全区の体育館で実施され、1000名を超える子供に体を動かす楽しさを実感できる機会を提供している。</p> <p>○この事業は、平成23年度より、さっぽろ健康スポーツ財団の自主事業として継続される。</p> <p>○運動教室が適切に開催されるよう、財団が開催している運営プロジェクト会議に参加し、指導・助言を行う。</p>							

様式イ

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)